輝く２人が対談
まちで噂の人気者 Part4

たけはらかぐや姫

竹原の魅力を伝えたい

畑野　桂子さん（28）

平成22年就任。市外から竹原市に移り住み、現在は作業療法士として、医療現場でも活躍中。

土居　菜津香さん（27）

平成22年就任。竹原で生まれ育ち、現在は歯科医院での受付業務と両立して竹原をＰＲ中。

―かぐや姫に就任して、１年３か月が経ちましたね。就任前と比べて変わったことはありますか。

土居　竹原の魅力を再発見しました。大人になって遠のいていたお祭りに参加して、とても楽しかったですし、また、竹原に住む人の温かみも感じました。

畑野　私は、自分の役割を考えるようになりました。医療現場で、竹原を守ってこられた高齢者のみなさんの声を聞かせていただいて、ずっと住んできた人だからこそ知る竹原の歴史やよさを伝えたいと思うようになりました。

土居　いろいろな人から学ぶことが多いよね。私は、観光ガイドさんから、今まで身近過ぎて気づかなかった町並み保存地区が、観光地としてとても魅力的な場所だと学びました。

畑野　雛めぐりの時に、町並みを２人で歩きながら勉強して、楽しかったね。

―竹原の魅力を伝えるというのが、かぐや姫の大きな仕事ですね。

土居　そうですね。市外で他の市の「ミス」さんと一緒の舞台でＰＲした際、「伝える」難しさを感じました。どうすれば、竹原の魅力をしっかり伝えて、竹原に来てもらえるかな…と。

畑野　すごく難しい。まだまだ課題です。

―ずばり、かぐや姫になって良かったですか。

畑野　良かったです。一番嬉しいのは、勤務先のデイケアの利用者さんが、私を応援しに外出してくれること。かぐや姫の仕事が地域医療につながるんです。

土居　私も良い経験になりました。イベントを通して、竹原のことが今までよりも好きになりました。それに、同年代の畑野さんと一緒なので、頑張れます。

畑野　ありがとう。私も土居さんと一緒で本当に良かった。

―最後に、残り９か月の目標を教えてください。

畑野　多くの人にイベントに来ていただけるよう、土居さんと企画もしてみたいです。市民の人にも、竹原の魅力を再発見してもらえたら、と思います。

土居　行ってみると気づく良さがたくさんあるよね。次の仕事は花火大会。去年の反省点を生かして、頑張ります。

かぐやパンダのエコな生活

人のうごき

（住民基本台帳登録者数）

人口	２９，０３０人
男	１３，７３５人
女	１５，２９５人
	１２，９１７世帯
１年前	２９，４７３人
５年前	３０，９００人

－７月１日現在－

ティータイム

祝・なでしこＪＡＰＡＮ初優勝！彼女たちの鮮やかなチームプレーは、何度見ても感動します。先日、小学校の水泳大会に行ってきました。小さな体を精一杯動かして、最後まで諦めずに泳ぐ児童たち。会場からの熱い応援。スポーツっていいなぁと思う、今日この頃です。

と

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便　〒725-8666（住所不要）竹原市企画政策課「市長への私の提案」係
FAX　22-0998 ※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。
ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

発行／広島県竹原市企画政策課　☎（0846）22-0942　FAX（0846）22-0998
竹原市ホームページ http:www.city.takehara.lg.jp
（この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。）